

会社概要

平成26年9月30日現在

商号	デリカフーズ株式会社
英文社名	DELICA FOODS CO., LTD.
設立	平成15年4月1日
創業	昭和54年10月6日
所在地	〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号
資本金	759,755千円
従業員数(連結)	287名(他、平均臨時雇用者数1,270名)

役員

代表取締役社長	小笠原 真清
取締役会長	館本 勲武
専務取締役	杉 和也
常務取締役	大崎 善保
常勤監査役	野村 五郎
監査役	山口 隆
監査役	田中 清隆

会計監査人 仰星監査法人

株式状況

平成26年9月30日現在

発行済株式総数 6,242,000株
株主総数 9,189名

大株主

館本 勲武	1,140,300株
館本 篤志	1,019,200株
デリカフーズ(株)(自己株式)	203,902株
デリカフーズグループ 従業員持株会	134,600株
小笠原 真清	106,800株
杉 和也	103,000株
岡本 高宏	100,100株
野村 五郎	99,400株
竹内 啓	71,800株
大崎 善保	65,000株

株主分布状況

自己名義株式	0.01%
金融機関	0.05%
金融商品取引業者	0.12%
その他国内法人	0.38%
外国法人等	0.17%

個人・その他
99.27%

所有株式数別分布状況

100単元以上	0.44%
50単元以上	0.36%
10単元以上	6.37%
5単元以上	7%
1単元以上	84.43%
1単未満	1.4%

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 (証券コード 3392)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.delica.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機構(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



“Fresh & Speedy”

デリカフーズ株式会社

〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号



【お問い合わせ】

TEL 03(3858)1037

FAX 03(5851)1056

<http://www.delica.co.jp/>

デリカフーズ

IR最新情報はHPをご覧ください。



本事業報告書は、地球環境への負担を低減させるために、FSC®認証紙と、大豆油などをリサイクルして作られたベジタブルインクを使用しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

12

第12期 中間事業報告書

平成26年4月1日▶平成26年9月30日

INVESTOR RELATIONS
DELICA REPORT
[デリカレポート]



デリカフーズ株式会社
DELICA FOODS CO., LTD.

東証2部 証券コード 3392

TOP MESSAGE

株主の
皆様へ

代表取締役社長

小笠原 真清

(おがさわら ますみ)



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。当第2四半期連結累計期間は売上・利益ともに順調に推移し、ここに中間事業報告をすることができました。これもひとえに、株主の皆様のご理解、ご支援の賜物と、重ねて御礼を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、今年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減、台風や天候不順などの影響で個人消費が伸び悩むなど、依然として不透明な経済情勢で推移してきました。食品関連業界も消費者の節約志向は依然として根強く、人件費やエネルギーコストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、長年取り組んでまいりました青果物の機能性研究の成果を活かした提案型営業の強化、平成25年7月に竣工した第二FSセンターの順調な

稼働、九州や静岡地区での取引拡大など、新規顧客の獲得や既存取引の深耕が計画以上に進展いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間としての売上高は13,937百万円(前年同四半期比6.8%増)で過去最高となりました。利益につきましても、台風や低温などの影響による野菜の調達価格の高騰や、品質悪化に伴う作業効率の低下やロスの増加が発生したものの、グループ全体での原価低減など企業努力を推進した結果、営業利益350百万円(同11.8%増)、経常利益368百万円(同19.4%増)、四半期純利益233百万円(同30.6%増)となりました。

今後もグループ一丸となった営業活動により、さらなる企業価値向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の概況

第2四半期連結累計期間としての売上高は、過去最高となりました。

平成25年に竣工した東京第二FSセンターの順調な稼働や、九州・静岡地区などで取引が拡大していることなどにより、第2四半期連結累計期間としての売上高は過去最高額を計上。天候不順の影響等を最小限に留めたことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益とも前年同四半期と比べ増加いたしました。

当第2四半期 連結累計期間の業績

売上高 **13,937**百万円
(前年同四半期比6.8%増)

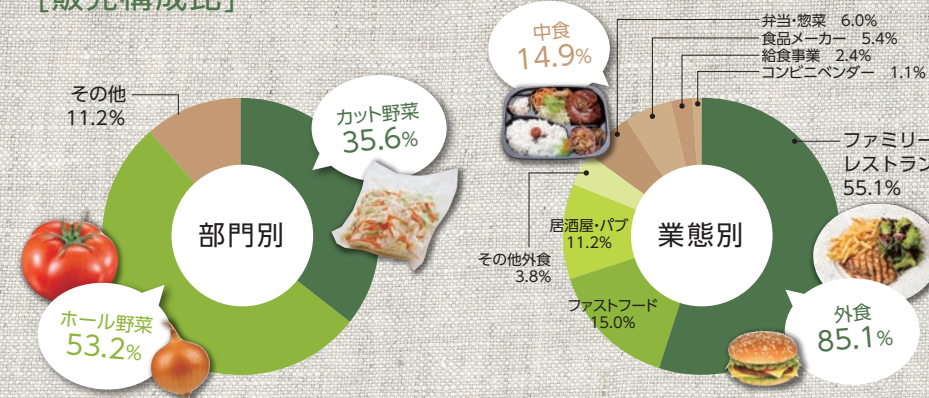
営業利益 **350**百万円
(前年同四半期比11.8%増)

経常利益 **368**百万円
(前年同四半期比19.4%増)

四半期純利益 **233**百万円
(前年同四半期比30.6%増)

1株当たり
四半期純利益 **38.74**円

[販売構成比]



カット野菜とは、開封してすぐに食べられる状態にしてあるパッケージ野菜です。ホール野菜とは、加工しない野菜そのものをいいます。カット野菜の比率が年々上昇しております。

外食・中食と大きく2つの業態に分かれており、全体の8割以上が外食産業向けの売上となっております。当第2四半期連結累計期間はファストフード向けの売上が増加いたしました。

取締役のご紹介



すぎ かずや
杉 和也

デリカフーズ株式会社
専務取締役
大阪デリカフーズ株式会社
代表取締役社長



おおざき よしやす
大崎 善保

デリカフーズ株式会社
常務取締役
東京デリカフーズ株式会社
代表取締役社長
名古屋デリカフーズ株式会社
代表取締役



たちもと いさたけ
館本 勲武

デリカフーズ株式会社
取締役会長



デリカフーズ(株)を持株会社として、
事業会社でグループを構成しています。
グループ会社のご紹介

東京・名古屋・大阪を拠点とする各グループ会社が、新鮮な野菜をジャストインタイムでお客様にお届けしています。
大都市圏を中心に物流網を構築しており、24時間365日体制でお客様のご要望にお応えしております。
また、デザイナーフーズ(株)はグループの研究開発部門として野菜の機能性について研究しています。



完全子会社	東京デリカフーズ(株)	●東京FSセンター ●保木間センター ●神奈川事業所 ●九州事業所 ●仙台事業所 ●福島工場 ●大田センター ●三郷センター
	名古屋デリカフーズ(株)	●子宝工場 ●かの里工場
	大阪デリカフーズ(株)	●茨木工場 ●兵庫工場 ●奈良FSセンター(建設中)
	デザイナーフーズ(株)	●研究所 ●東京事務所 ●ベジマルシェ

東京
TOKYO
東京デリカフーズ(株)

最新鋭の工場「第一・第二FSセンター」は
グループ最大規模の生産体制を誇っています。

デリカフーズにおいて最も生産量が多い、首都圏エリアの青果物流通拠点です。最新鋭のハードとソフトを融合した第一・第二FSセンターは、合計で年商約100億円規模の生産能力があります。また、この他に九州や東北にも拠点を保有しています。

- ◆ 売上高 16,213百万円
- ◆ 経常利益 152百万円 (平成26年3月期実績)



大阪
OSAKA
大阪デリカフーズ(株)

関西地区のお客さまの要望に応え
生産能力増強のため奈良FSセンターを新設します。

関西地区では他の地区に比べ、ファストフードとの取引が多いのが特徴です。また、産地開発にも積極的に取り組んでいます。生産能力を増強するため、現在の2工場体制に加え、新たに奈良FSセンターを建設中で、平成27年4月に竣工予定です。

- ◆ 売上高 5,698百万円
- ◆ 経常利益 157百万円 (平成26年3月期実績)



名古屋
NAGOYA
名古屋デリカフーズ(株)

創業の地として最も長い歴史を持ち、
地域密着型のきめ細かな営業を展開しています。

名古屋はデリカフーズ発祥の地。昭和54年から35年と最も長い歴史を持ち、地域に密着した事業を展開し、中小事業者にもきめ細かく対応しています。また、野菜の他に肉・魚や調味料など材料一式がパックされた「キット」も販売しています。

- ◆ 売上高 4,373百万円
- ◆ 経常利益 144百万円 (平成26年3月期実績)



デザイナー
DESIGNER FOODS
デザイナーフーズ(株)

研究・コンサルティング活動を中心に、
食生活をトータルにプロデュース。

名古屋の研究所では、野菜や果物を中心に、食物の栄養や機能性について研究しています。また、研究データや消費者心理・マーケティングから見た商品・メニュー開発や、食育やメタボなど食に関する講演活動なども行っています。10年以上に渡り蓄積した分析データは2万検体以上にも及び、今後予測される食品の機能性表示への対応を検討しております。

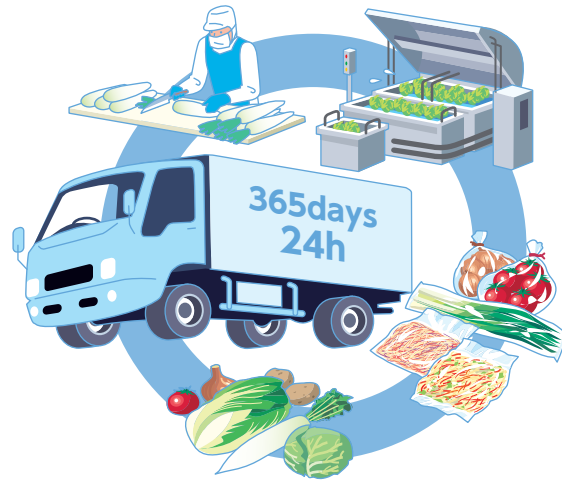


生産者と食の提供者をつなぐ“業務用の八百屋”が事業コンセプト。 デリカフーズがお客様に支持される4つの理由。

東京・名古屋・大阪など直営拠点と全国各地の協力会社のサポートで、安全・安心な野菜をお客様にお届けしています。また、野菜の生理に合わせた低温管理を徹底し、新鮮な状態を保ちつつ、スピーディかつタイムリーに対応いたします。これまでに培ったノウハウや研究開発の実績を活かし、生産性と品質の向上に努めています。

1 販売力

大都市圏にグループ会社の拠点や工場があり、お客様の店舗が集中する都市部での強固な営業基盤を構築しています。また、24時間365日のチルド配送網を保有しており、カット野菜製造の技術やノウハウを活かし、販売力を強化しています。



2 ブランド力

昭和54年創業のデリカフーズは、外食ニーズの拡大に伴い、野菜や果物の流通における総合商社として成長してきました。業界屈指の高い利益率を誇り、青果物流通業唯一の上場企業としてブランドを築いてまいります。



3 調達力

デリカフーズに納入していただくのは、安心で安全な野菜をつくる農家の方々。自然災害などのリスクに対応するため、全国各地に契約産地があり、さらに拡大しています。これに加えグループ間のバックアップ体制があり、青果物のロスを最小限に抑えています。



4 分析力

業界トップクラスの研究開発部門を持ち、特に野菜の抗酸化における研究では、パイオニアとしての地位を築いてきました。また、質・量ともに世界に例を見ない分析データを保有しており、この研究成果を活かし、新たな事業を展開していきます。



業務紹介
デリカフーズの
Network

野菜の
生産者



契約農家など各地で生産される新鮮で高品質な野菜を安定的に仕入れます。契約農家は年々広がっており、研究機関や行政との共同開発で土壌改良などにも力を注いでいます。

デリカ
フーズ



「Fresh&Speedy」をキャッチフレーズに新鮮でおいしい野菜の流通を追求。業界でも類を見ない24時間・365日体制で常にお客様をサポートしています。

食の
提供者



ファミリーレストラン・居酒屋・ファストフードなどの「外食」、コンビニエンス・惣菜・お弁当などの「中食」、社員食堂などがお客様。野菜の生理に合わせたチルド配送網で全国1万店舗に様々な野菜をお届けしています。

デリカフーズの研究成果が新たな野菜のトレンドを築きます 野菜の評価基準は“形”ではなく“中身”へ

形の良し悪しや傷の有無、虫害・病害など、これまでは野菜の形で評価されてきました。その後は、トレーサビリティなど管理体制の安全性が評価対象になりました。そして近年、当社グループが研究してきた野菜の中身評価、つまり野菜が持つ機能性で野菜を評価する方向へとシフトしています。デリカフーズではこれを「野菜ルネッサンス」とよんでいます。



免疫系野菜

ウイルスなどから自分の身を守る力が「免疫力」です。色の淡い野菜やネバナした野菜には、秘めた力が豊富にあります。

解毒系野菜

知らず知らずのうちに身体にたまった不要なものを外に出す力が「解毒力」。西洋・東洋のハーブ、香辛系野菜には強い力があります。

NEWS & TOPICS

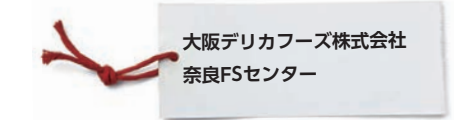
当社の主な出来事やグループの取り組みをご紹介します。



投資家向けイベント 「日経IRフェア2014」に出展し、積極的に会社をアピール



もっと幅広くデリカフーズを知っていただきたい。そんな想いのもと、平成26年8月29日・30日の2日間、日経IRフェア2014に出展いたしました。事業内容や研究成果など、参加者に会社のことを分かりやすくお伝えし、多くのお客様にブースに立ち寄っていただきました。



関西エリアの生産能力増強のため、奈良FSセンターを建設中



大阪デリカフーズ(株)では、関西エリアでの青果物流通拠点の充実と、生産能力増強を目的として奈良県磯城郡田原本町に奈良FSセンターを建設中です(平成27年4月に竣工予定)。最新の設備を投入し、年間20億円程度の生産能力を予定しております。また、環境にも配慮した工場設計となっております。



株主優待制度の一部変更に関するお知らせ(長期保有株主様への優待追加)

3年以上継続して1,000株以上保有する株主様には、通常の株主優待に加え、「機能性オリジナルドレッシング(非売品)」をお届けします。株主優待制度については右表をご確認ください。

保有株式数	優待内容
100株以上500株未満	1,500円相当のこだわり野菜の詰合せ
500株以上1,000株未満	3,000円相当のこだわり野菜・果物の詰合せ
1,000株以上	6,000円相当のこだわり野菜・果物の詰合せ





四半期連結貸借対照表 (要旨)

単位：千円

科 目	第11期 前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	第12期 当第2四半期連結累計期間 (平成26年9月30日)
■資産の部		
流動資産	6,212,301	6,421,666
固定資産	7,140,055	7,299,847
資産合計	13,352,357	13,721,513
■負債の部		
流動負債	3,804,214	4,269,956
固定負債	4,684,561	4,417,865
負債合計	8,488,776	8,687,821
■純資産の部		
株主資本	4,811,356	4,965,435
その他の包括利益累計額	41,906	56,976
新株予約権	10,318	11,279
純資産合計	4,863,581	5,033,691
負債純資産合計	13,352,357	13,721,513



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 単位：千円

科 目	第11期 前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	第12期 当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,544	626,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,796	△420,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,348,764	△37,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	648	159
現金及び現金同等物の増減額△は減少	729,161	168,382
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,861	2,554,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,539,022	2,723,177



四半期連結損益計算書 (要旨)

単位：千円

科 目	第11期 前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	第12期 当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高	13,050,248	13,937,168
売上原価	9,866,200	10,457,656
売上総利益	3,184,048	3,479,512
販売費及び一般管理費	2,870,362	3,128,809
営業利益	313,685	350,703
営業外収益 1	24,753	46,662
営業外費用	29,674	28,620
経常利益	308,763	368,744
特別利益 2	1,214	17,148
特別損失	8,063	3,657
税金等調整前四半期純利益	301,915	382,235
法人税、住民税及び事業税	123,101	148,777
四半期純利益	178,813	233,458
1株当たり四半期純利益	30.11	38.74

決算数値のポイント



営業外収益

営業外収益は前年同四半期と比べて大幅に増加しておりますが、これは受託分析やコンサルティングの受託が大幅に増加し、業務受託手数料18,488千円を計上したこと等によりです。



特別利益

特別利益の内訳は、保険解約返戻金16,967千円、その他181千円となっております。

産地
レポート
vol.3

テリカフーズの株主優待や宅配ボックスに野菜を提供していただいている生産者さんをご紹介します。

農事組合法人 光輪
[愛知県]

農事組合法人 光輪
愛知県知多郡南知多町
大字大井字葦廻間24

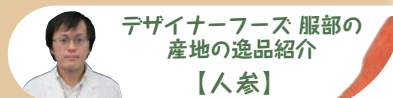


農事組合法人 光輪 相談役
熊崎 巖さん

知多半島の南に位置する光輪農場では、人参のほか大根、タマネギ、キャベツなど10品目以上を栽培する。有機農場としては大規模な20haという広さの畑で、自然の生態系を活かした農業を実践しています。

豊かな生態系による機能性の高い野菜を生産。
将来独立する若者を育て、有機栽培を広めたい。

「地球には自然のリズムや調和があり、それに即してつくるのが大事。」と光輪の相談役・熊崎巖さんはいいます。光輪の有機農法は、酪農家の発酵堆肥や雑草といった有機物を活用しています。これらを投入する際にEM(有用微生物群)を与えますが、これにより土地に合った微生物が増殖します。土には多種多様な微生物や小動物が育ち、豊かな生態系が誕生します。有機栽培にこだわり、農薬や化学肥料を使用せず、美味しく栄養価の高い野菜を生産しています。日本の食と環境の安全を守るため、お金以上に夢のある自然農法をめざす若者を育成し、豊かな土づくりを進めています。



デザイナーフーズ 服部の
産地の逸品紹介
【人参】

生食、炒める、煮るなど多くの調理法で親しまれ、カロテンが豊富な緑黄色野菜。甘味が強く、デザート素材としても活用されます。当社の分析によれば、光輪様の人参は安定して糖度が高く、ヒドロキシラジカル消去活性は一般的な人参に比べ約3倍と、抗酸化力の高さが表れています。

